

令和5・6年度鹿沼市地域生活支援拠点（面的整備）整備状況等一覧表

～地域での生活を継続するための取り組み～

5つの機能	担い手（想定含む）	具体的な取り組み	課題	目指す目標・方向性
相談	基幹相談支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹センター業務（基幹業務、委託業務、特別支援学校進路相談会等） ・緊急時支援事業、体験の機会・場の相談・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の人数や、主任相談支援専門員の不足 ・各サービス事業所や関係機関との連携の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ◎事例検討会や相談支援部会の研修を活用した相談支援専門員のスキルアップや、担い手同士の連携 ・主任相談支援専門員の増加
	特定相談支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時支援事業、体験の機会・場等の相談 		
	一般相談支援事業所		<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行・地域定着ケースが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行・地域定着の推進
	地域活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・医）清和会に委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関との連携 	
緊急時の受け入れ	障害者支援施設 日中支援型グループホーム 居宅介護支援事業所 緊急短期入所ワーキンググループ 緊急居宅介護ワーキンググループ 基幹相談支援センター	◎鹿沼市地域支援緊急時支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・登録:33名（内4名が転出・死亡等により登録削除） ・登録面接会年3回実施 ・ワーキンググループ年3回実施 ・受入コーディネーター業務 担当：基幹相談支援センター 実績：累計受入：延べ5名（R2：0名 R3：2名 R4:2名 R5：1名）	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知不足（結果として、未登録者の受入が発生） ・行動障害・医療的ケアの方への対処 ・児童短期入所の受入先不足 	<ul style="list-style-type: none"> ◎制度の周知、登録者の増加 ・緊急時を予防する体制の構築 ・駆けつけ応援の整備（短期入所・居宅介護事業所以外の方の理解及び事業参加）
体験の機会・場の提供	体験ワーキンググループ グループホーム 短期入所事業所 就労系事業所 基幹相談支援センター	◎おためしホーム <ul style="list-style-type: none"> ・体験ワーキンググループ：市内10事業所、基幹相談支援センター、市が集まるWG。入居を前提としないグループホームの体験（おためしホーム）を検討 ・基幹相談支援センター：おためしホームのモデルケースを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム同士の連携体制が未構築 ・事業所へのおためしホームの理解度不足 ・事業所スタッフの障害者に対する理解やスキルの不足（行動障害への対処等） ・日中活動の体験利用が未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◎おためしホームの整備全般 ・事業の周知 ・気軽に利用できる体験の場の整備（日帰りや複数人利用等） ・地域のグループホーム同士が連携できる場の整備
専門的人材の確保・養成	拠点等運営検討部会	研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で人材を育てる体制 ・人材定着の取組 ・事業所によって研修の機会が異なる ・専門的人材の養成の担い手が不足 ・ニーズの把握不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体での人材育成（人材の確保・定着） ◎事務局連絡調整会議を中心とした研修の充実 ・事業所のすべての職員が専門的な技能を習得できる環境の整備
	相談支援部会 就労支援部会	各部会での研修の実施		
	障がい福祉課	研修の案内		
	基幹相談支援センター	事例検討会、相談支援事業所巡回相談		
地域の体制づくり	自立支援協議会	広い視点から鹿沼市の福祉の方向性検討のために、自立支援協議会を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の抽出のみに留まる ・検討から実施までのハードルが高い ・地域住民・関係機関等への普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ◎事務局連絡調整会議を活用し、地域課題解決に向けた取組の実施 ・障がい分野以外（こども未来部・教育委員会事務局）との連携強化
	拠点等運営検討部会	ワーキンググループの取りまとめ		
	事務局連絡調整会議	地域課題等の検討		
	事例検討会（基幹相談支援センター・相談支援部会）	事例検討会による地域課題の抽出	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・行政・地域の連携 ・職員のスキル不足 ・学校との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・行政（市・県西健康福祉センター）・地域が同じ方向を向いて、連携・協働した『にも包括の協議の場』整備 ・鹿沼市の地域特性を踏まえた児童発達支援センター（中核機関）の整備
	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムワーキンググループ	障がいを持つ方が住み慣れた地域で暮らす多延の支援をテーマに、外部講師を招き、幅広い事業所を対象とした研修会を実施（R5.8.8）		
	児童ワーキンググループ	児童発達支援・放課後等デイサービスガイドブックの作成		